

# 鈴廣のかまぼこ博物館 改修

神奈川県小田原市

設計・監理／環境デザイン研究所

施工／瀬戸建設、白線社

SUZUHIRO KAMABOKO MUSEUM

Environment Design Institute



外観

1階かまぼこ百科 1～12の数でなぞっていく解説グラフィックと、様々な体験装置でかまぼこのひみつを伝える



## 設計主旨

鈴廣のかまぼこ博物館は、創業150余年の老舗蒲鉾屋である「鈴廣かまぼこ」の企業博物館である。旧見学工場を改修し、体験型博物館として1996年に開館した。

本計画は、開館後約20年を経て、日本の伝統的な食材としてのかまぼこを正しく理解してもらい、来館者と鈴廣のかまぼこの新しいつながりを生み出し続け、かまぼこやそれを食べる文化を未来へとつないでいくためのコミュニケーションが更に深まるよう、再整備を行ったものである。

「伝統と技」をテーマとした1階では、展示アイテムの更新を行い、かつて本社事務室として利用されていた3階では、「食と科学」をテーマとしたかまぼこのおいしさのひみつや栄養について、科学的な視点で学ぶことができるよう、体験・展示機能の拡充を行った。

### ー 1F「伝統と技」

1階「伝統と技」コーナーは、かまぼこ職人たちの技をガラス越しに見近で見ることができる「見る工場」、「かまぼこ手づくり体験教室」、かまぼこの基礎知識をわかりやすく紹介する展示コーナー「かまぼこ百科」、ミュー

ジウムショップで構成されている。

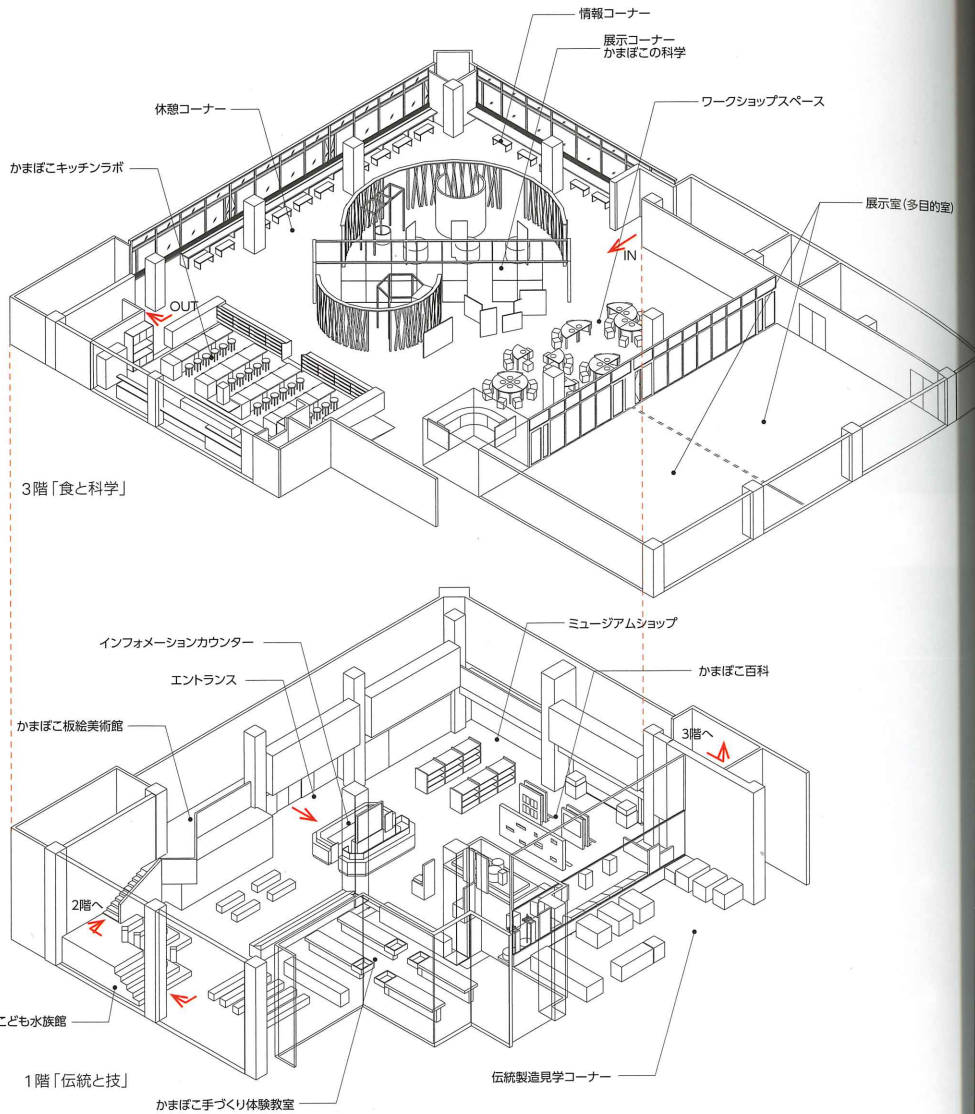
かつてのかまぼこ工場のイメージを継承したロフト的空間の中で、創業150年の老舗にふさわしく、重厚で落ち着いた色合いの床板の上に、清潔なかまぼこ板のような白木の什器を配し、様々な展示アイテムを計画した。

### ー かまぼこ百科：かまぼこの12のひみつ

受付カウンターの後方に配置されるかまぼこ百科は、かまぼこの基礎知識について紹介する展示コーナーである。かまぼこは、魚と天日塩と天然水という贅沢な材料を使って、自然な方法と職人技で魚の美味しさを引きだ



上/かまぼこ百科 下/かまぼこ手づくり体験教室



アイソメ図



かまぼこキッチンラボ



伝統製造見学コーナー



かまぼこ板絵美術館

す、伝統的なナチュラルヘルシーフードであるということ、体験型装置と1から12の数でなぞっていく解説グラフィックでわかりやすく伝えている。

### 一 3F「食と科学」

3階「食と科学」は、かまぼこのひみつを科学でさぐる展示コーナー「かまぼこの科学」を中心に、かまぼこを使った簡単レシピの調理体験、食の実験教室などのプログラムが用意されているかまぼこキッチンラボ、様々なイベントが可能な企画展示室で構成されている。

「かまぼこの科学」は、魚からかまぼこ、そし

て人の身体へと渡っていく、“たんぱく質のうつつかえ”をストーリーの軸にした展示コーナーである。天然水を用いた水晒しによって生まれるかまぼこの白さ、たんぱく質の網目構造によって生まれるかまぼこの弾力など、科学的な切り口でかまぼこのおいしさや栄養価の高さを紹介している。

また、かまぼこの網目構造をイメージしたランダムルーバーに地元木材を活用し、展示空間をゆるやかに区切っている。温かみのあるかまぼこ板の白木と、弾力のある真っ白なかまぼこのように、清潔で明るく居心地のよ

い空間づくりを目指した。

(久住郁子／環境デザイン研究所)



**仙田 満**……せんだ みつる  
1941年神奈川県生まれ。1964年東京工業大学建築学科卒業、1964～68年菊竹清訓建築設計事務所、1968年環境デザイン研究所設立。現在、同社社長。



**久住 郁子**……くすみ いこ  
1967年東京生まれ。1989年日本大学理工学部建築学科卒業、1989～96年東宝映像美術、1996年環境デザイン研究所入社。現在、同社ゼネラルマネージャー。



3階「食と科学」かまぼこの伝統製法の工程と、たんぱく質に網目構造ができるまでの過程を分かりやすく伝える



かまぼこの網目構造をイメージしたランダムルーバー

#### 鈴廣のかまぼこ博物館 改修 データ

所在地 神奈川県小田原市風祭245

主要用途 工場、展示場

建築主 鈴廣蒲鉾本店

設計・監理 環境デザイン研究所

担当/総括: 仙田 満 建築: 久住郁子 (監理共)、

濱田 絢子

構造 金箱構造設計事務所 担当/金箱温春、野田 賢

設備 システムプランニングコーポレーション

担当/鎌形 亜土、松尾 孝宏、平井 誠

照明計画 フォーライツ 担当/稲葉 裕

サイングラフィック 担当/岩松 亮太

展示設計

[1階 伝統と技・3階 食と科学]

環境デザイン研究所 担当/久住郁子、長野 楓

[2階 かまぼこ板絵美術館]

電通ライブ 担当/西牟田 悠、梅枝 真衣

針谷将史建築設計事務所 担当/針谷将史、目崎 優人

施工 瀬戸建設 担当/小澤 剛

展示製作

[1階 伝統と技・3階 食と科学]

白線社 担当/伊東美子、北川 哲也

[2階 かまぼこ板絵美術館]

電通ライブ 担当/西牟田 悠、梅枝 真衣

設計期間 2015年5月～2016年6月

工事期間 2016年7月～2016年10月

[建築概要]

敷地面積 2,557.20㎡

建築面積 1,545.72㎡

延床面積 4,537.79㎡

展示面積 1,973.83㎡

常設展示室 1,700.55㎡

展示室1 (伝統と技) 602.27㎡

展示室2 (かまぼこ板絵美術館) 65.62㎡

展示室3 (食と科学) 1,032.66㎡

企画展示室 274.28㎡

建ぺい率 60.43% (許容70%)

容積率 117.42% (許容200%)

構造規模 RC造、一部S造 地下1階、地上3階

最高高さ 15.53m

軒高 11.9m

階高 B1F～1F: 3.6m 1～2F: 4m 2～3F: 3m

3F～RF: 4.3m

天井高さ 1F: 6.7m 3F: 2.9m

主なスパン 7m×7m

道路幅員 17m

地域地区 第1種住居地域

[設備概要]

電気設備 受電方式/高圧受電方式 変圧器容量/875kVA (建物全体分) 予備電源/無し

空調設備 空調方式/地中熱利用ヒートポンプパッケージエアコンによる個別空調方式 熱源/電気

衛生設備 給水/受水槽+加圧給水方式 給湯/厨房系統: 中央方式(地中熱利用ヒートポンプ温水器用) 客用トイレ洗面所: 局所方式(電気温水器) 排水/汚水: 雑排水合流方式、合併処理浄化槽

防災設備 消火/屋内消火栓設備 排煙/自然排煙 その他/非常照明設備、誘導灯設備、非常放送設備、自動火災報知設備

[主な外部仕上げ]

屋根 コンクリートスラブの上アスファルト防水

外壁 コンクリート打ち放しの上アクリル系外装材吹き付け、アルミ製横ルーバー

建具 アルミサッシ

[主な内部仕上げ]

1階 常設展示室「伝統と技」床/パイン材フローリングOSUC 壁/パイン材フローリングOSUC (腰壁) + 防カビ塗装 (上部) 天井/天井あらし、防カビ塗装

2階 常設展示室「かまぼこ板絵美術館」床/塩ビシート貼壁/EP 天井/岩綿吸音板

3階 常設展示室「食と科学」・3階 企画展示室 床/カバフローリングOSUC 壁/ビニルクロス貼 天井/岩綿吸音板

撮影/近代建築社(篠澤建築写真事務所)

協力会社

給排水衛生設備工事	三栄管工業
電気設備工事	野地電機
空調設備工事	新陽冷熱工業
内装工事	にしやま